

1. 建物概要

建物名称	焼津市新庁舎	BEE	2.2	BEEランク	A	★★★★
------	--------	-----	-----	--------	---	------

2. 重点項目への取組み度

重点項目			得点※/満点		取組み度		評価	
”ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)			3.6	/5			ふつう	
”災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)			4.7	/5			よい	
”しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)			4.7	/5			よい	
”緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)			4.2	/5			よい	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)				評価 凡例		よい 4 点以上 	ふつう 3 点以上 	がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目										
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点					3.6					
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①Low-eガラスの採用による開口部の温熱環境の向上。 ②③Pca床直仕上天井とLED照明で昼光を室内に取り入れグレアない光環境。 ④耐久性の高い材料の使用と設備等更新性の向上。	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能					
		Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備					
				3.2	3.2.1	③	昼光制御					
		Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数					
				2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔						
				2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔						
				2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔						
				2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔						
				2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔						
		■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤敷地内既存大景木の建物廻り再配置により外構緑地指数50%以上を確保した。 ⑥緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出				
			3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上					
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦Low-eガラスによる高断熱化。 ⑧自然通風による自然エネルギーの利用。 ⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入。 ⑩BEMSの導入によるエネルギー管理。	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制					
			2			⑧	自然エネルギー利用					
			3			⑨	設備システムの高効率化					
			4	4.1		⑩	モニタリング					
				4.2		⑩	運用管理体制					
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪井水のカスケード利用(熱源、洗浄水)。 ⑫地下躯体部分における高炉セメントの採用。 ⑬不活性ガス(CO2)消火設備の導入。	LR-2	1	1.1		⑪	節水					
				1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無					
					1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無					
			2	2.1	2.1.1	⑫	材料使用量の削減					
					2.1.2	⑫	既存建築躯体等の継続使用					
				2.1.3	⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用						
				2.1.4	⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用						
				2.1.5	⑫	持続可能な森林から産出された木材						
				2.1.6	⑫	部材の再利用可能性向上への取組み						
		3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用						
			3.2	3.2.1	⑬	消火剤						
				3.2.2	⑬	断熱材						
				3.2.3	⑬	冷媒						
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭外壁の断熱(温暖化配慮型)と高性能設備機器で省エネルギー対策。 ⑮外構の全舗装面に保水性ブロックを採用した。主風向に対する見付面積比を50%以下とした。	LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮					
			2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善					
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点					4.7					
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯免震・制振装置の採用。 ⑰耐震性の高い設備機器の設置(静岡県基準)と情報線用配管配線等。	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性					
					2.1.2	⑯	免震・制振性能					
				2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備					
					2.4.2	⑰	給排水・衛生設備					
					2.4.3	⑰	電気設備					
					2.4.4	⑰	機械・配管支持方法					
					2.4.5	⑰	通信・情報設備					
	“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点					4.7				
		■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑱バリアフリー法誘導基準相当の計画とした。 ⑲階高のゆとり(天井を張らないPca直天井)、小部屋を極力なくし空間レイアウトの自由度を高めた。 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) ㉑街並みに配慮し、木材等自然素材を活用した外装とした。	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画				
				3	3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり				
					3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ					
		Q-3	3	3.1		㉑	地域性への配慮、快適性の向上					
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点					4.2					
		■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤敷地内既存大景木の建物廻り再配置により外構緑地指数50%以上を確保した。 ⑥緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出				
				2			⑥	まちなみ・景観への配慮				
				3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上				
		■敷地外環境対策 (⑮温熱環境悪化の改善) ⑮外構の全舗装面に保水性ブロックを採用した。主風向に対する見付面積比を50%以下とした。	LR-3	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善				